



## 第 152 回 多可町定例記者会見

令和 4 年 11 月 24 日 (木) 午後 1 時 30 分～  
多可町役場本庁舎 401 会議室

### 1. 町長あいさつ

### 2. 案 件

#### ◆記者発表事項

- (1) 企画秘書課より ・・・ P.1  
かがやき多可賞授与及びふるさと親善大使任命について
- (2) 商工観光課より ・・・ P.3  
第 28 回杉原紙年賀状全国コンクール作品募集  
杉原紙事始め講座
- (3) こども未来課より ・・・ P.5  
第 27 回おもしろ算数・数学講座  
多可町播州歌舞伎クラブの新春公演
- (4) 生涯学習課より ・・・ P.7  
令和 4 年度ふるさと創造大学公開講座
- (5) 図書館より ・・・ P.8  
みんなで楽しむ クリスマスおはなし会&クリスマスミニコンサート  
かるた会
- (6) ベルディーホールより ・・・ P.10  
第 16 回多可町芸能祭
- ◆その他の機関
- (7) 多可町商工会より ・・・ P.11  
認知症サポーター養成講座  
多可町特産品と日本文化の魅力発信 ((有) 戎屋菓子店)

### 3. 質 疑

### 4. 次回のお知らせ

#### ◆第 153 回多可町定例記者会見

と き 令和 4 年 12 月 21 日 (水) 午後 1 時 30 分～  
と ころ 多可町役場 401 会議室  
問合先 企画秘書課 TEL 32-2381

# 多可町政 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和4年11月24日	企画秘書課	谷尾 諭	0795-32-2381

<p><b>事業(行事)名</b></p> <p>かがやき多可賞授与式及びふるさと親善大使任命について</p>
<p><b>日時(開催期間)</b></p>
<p><b>場所</b></p>
<p><b>趣旨または目的</b></p> <p>多可町民に明るい希望と活力を与えたと認められる個人や団体に対しその功績を讃え「かがやき多可賞」を贈る。</p> <p>また、多可町出身者及びゆかりのある人を「ふるさと親善大使」に委嘱し、多可町を広く紹介していただくとともに町の発展に寄与していただくことを目的とする。</p>
<p><b>内容</b></p> <p>【かがやき多可賞】</p> <p>多可町では、スポーツ、文化、芸術、福祉その他の分野において、優れた成績や善行等によって、町民に明るい希望と活力を与えたと認められる個人または団体に対して「かがやき多可賞」を贈り、その功績を讃える。令和2年度開始。</p> <p>今回は、下記の10名に、かがやき多可賞を贈る。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)谷口 翔英(たにぐち しょうえい)さん 社高等学校3年生 野球部 全国高校野球(兵庫県代) 表出場</li> <li>(2)藤本 真央(ふじもと まひろ)さん 社高等学校3年生 野球部・マネージャー 全国高校野球(兵庫県代表) 出場</li> <li>(3)山本 巧(やまもと たくみ)さん 社高等学校 野球部・監督 全国高校野球(兵庫県代表) 出場</li> <li>(4)岡本 裕大(おかもと ゆうだい)さん 下関国際高等学校3年生 野球部 全国高校野球(山口県代表) 出場</li> <li>(5)大谷 永吉(おおたに えいきち)さん 中町中学校3年生 馬術 第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」 出場</li> <li>(6)宮内 汰史(みやうち たいし)さん 八千代中学校3年生 第30回ヤングリーグ選手権大会出場(丹波ヤングベースボールクラブ)</li> </ol>

- (7) 吉田 総悟 (よしだ そうご) さん 中町中学校 3 年生  
第 30 回ヤングリーグ選手権大会出場 (丹波ヤングベースボールクラブ)
- (8) 後藤 歩大 (ごとう あゆた) さん 中町中学校 3 年生  
第 30 回ヤングリーグ選手権大会出場 (丹波ヤングベースボールクラブ)
- (9) 澤田 健太 (さわだ けんた) さん 22 歳 (社会人)  
第 22 回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」出場
- (10) 翁田 大勢 (おうた たいせい) さん 読売巨人軍  
新人最多セーブ記録タイ 37 セーブを挙げる

**【ふるさと親善大使】**

ふるさと親善大使は、教育、文化及びスポーツ、並びに産業などの各界において活躍するとともに、多可町に愛着を持ち、かつ多可町出身又は縁のある方の中から、本人の同意を得て、町長が委嘱する。

委嘱後は、大使が行う日常的な活動の場においての多可町の PR や、町が実施する各種行事に協力していただく。

ふるさと親善大使 翁田大勢さん (読売巨人軍)

**参考資料など**

# 多可町政 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和4年11月24日	商工観光課	北藤 静	0795-32-4779

## 事業(行事)名

第28回杉原紙年賀状全国コンクール作品募集

## 日時(開催期間)

応募期間 令和4年12月19日(月)～令和5年1月11日(水)

## 場所

応募先：多可町商工観光課 年賀状コンクール係

表彰式：令和5年2月19日(日)

展示：令和5年2月4日(土)～3月26日(日) 杉原紙展示・体験工房にて

## 趣旨または目的

杉原紙のハガキを使用した年賀状作品のコンクールを実施する。

多可町の誇りでありシンボルでもある杉原紙を、全国の多くの方に知ってもらうこと、地域の人、地域の子どもたちに年賀状作りを通してその良さを実感してもらい故郷多可町に誇りを持ってもらうことを目的として本コンクールを実施する。

今年で第28回目を迎え、昨年度は1520点の応募があった。

## 内容

### [応募方法]

- ・杉原紙のハガキを使用し、裏面にちぎり絵や切り絵などでデザイン
- ・表面に、住所・氏名・年齢・性別・電話番号・子どもの部出品者は学校名と学年を明記

### [応募対象]

一般の部：高校生以上      子どもの部：中学生以下

### [賞]

#### 一般の部

金賞1点(賞金1万円)、銀賞2点(賞金5千円)、銅賞5点(賞金3千円)

#### 子どもの部

金賞1点(楯)、銀賞5点(楯)、銅賞10点(楯)、佳作20点

各賞には、上記の他賞状及び杉原紙商品を贈呈

### [その他]

- ・1人1点、未発表作品に限る。過去の受賞作品に類似した作品は審査対象外。
- ・応募作品の著作権は主催者に帰属し、作品は返却しない。

## 参考資料など

チラシ

# 多可町政 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和4年11月24日	商工観光課	藤田 尚志	0795-36-0080

## 事業(行事)名

杉原紙事始め講座の開催

## 日時(開催期間)

令和5年1月7日(土)～3月4日(土) ※講座日程については別紙のとおり

## 場所

杉原紙研究所または那珂ふれあい館

## 趣旨または目的

杉原紙は、1970年に復元されてから50年を迎えた。より多くの杉原紙ファンを増やすため、より深く杉原紙を理解してもらうために少人数制で開講する。

体験型と座学の2コースを計画している。今回で6回目となる。

## 内容

### 1. 和紙づくりコース【定員：5名 受講料：5000円】 ※場所：杉原紙研究所

杉原紙の原料であるコウゾ(楮)の木の刈り取りから紙の乾燥まで、和紙づくりのほとんどの工程を体験する計6回コース。

- ①「楮刈り 楮揃え」…原木の刈り取り、一定の長さに切り揃える。
- ②「楮蒸し 黒皮取り 川さらし」…楮を蒸して樹皮をはぎ、表皮を削って白皮にして、それを川の中にさらす。
- ③「きず取り 釜たき 米粉づくり」…白皮の不純物を取り除き、大釜で煮て柔らかくする。紙漉きの時に使う米の粉ひきを行う。
- ④「楮みだし 叩解」…煮えた白皮をよく洗い、叩いて繊維をほぐす。
- ⑤「紙漉き」…米粉入りの杉原紙を漉く。
- ⑥「紙干し」…漉いた紙を乾燥させる。これで完成。

※古来の杉原紙の特徴の一つとして、紙の中に米粉が入っていた。紙肌をより白くする見せるためである。この講座においても、米粉入りの杉原紙を作る。

### 2. 杉原紙を知るコース【定員10名 受講料：300円】 ※場所：那珂ふれあい館

杉原紙の歴史を学ぶ座学コース。1000年以上前の古代紙から最近の話題まで。講師は、多可町の文化財担当している那珂ふれあい館の安平館長。計3回コース。

### 3. 募集締め切り 12月20日(火)

## 参考資料など

チラシ

# 多可町政 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和4年11月24日	こども未来課	杉原 光平	0795-32-2385

## 事業(行事)名

第27回おもしろ算数・数学講座

## 日時(開催期間)

令和5年1月8日(日) 午後7時00分～

## 場所

八千代コミュニティプラザ 2階大ホール(多可町八千代区中野間650番地1)

## 趣旨または目的

多可町在住の門脇紀博<sup>としひろ</sup>氏が大阪大学名誉教授、臼井三平先生との西脇高校時代の同窓会の折に、大学体験を地元地域の人たち、特に子どもたちにしてほしいという話題となり、それが実現し始まった取り組み。

その後、臼井氏の恩師である京都大学名誉教授 故永田雅宜<sup>まさよし</sup>先生も加わり毎年恒例の講座となり、旧八千代町時代から今回で27回を数える。現在は、臼井先生ら4名の数学研究者の協力、善意を得ながら「子ども達に算数・数学に興味を持ってもらいたい」との趣旨のもとで開催している。

※町外からの参加も可能

## 内容

各教授らによる問題・解説

- ・臼井三平 氏(大阪大学名誉教授)
- ・足利 正 氏(東北学院大学名誉教授)
- ・大淵 朗 氏(徳島大学名誉教授)
- ・遊佐 毅 氏(兵庫県立大学准教授)

参加定員50名で会場開催とする。ただし、会場に来れない方用にライブ配信も検討しており、詳しくは多可町ホームページに掲載予定。(電話での問い合わせ可。申込時に「会場参加」か「ライブ配信聴講」かを選択して申し込みいただく)

また新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、web会議形式での開催のみに切り替える可能性もある。

対象は、おおむね小学校4年生以上とする。

## 参考資料など

チラシ

# 多可町政 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和4年11月24日	こども未来課	杉原 光平	0795-32-2385

<p><b>事業(行事)名</b></p> <p>多可町播州歌舞伎クラブ新春公演</p>
<p><b>日時(開催期間)</b></p> <p>令和5年1月29日(日) 開演 午後1時30分～ (開場 午後1時00分～)</p>
<p><b>場所</b></p> <p>多可町文化会館 ベルディーホール</p>
<p><b>趣旨または目的</b></p> <p>伝統芸能である播州歌舞伎を守り受け継ごうと活動する播州歌舞伎クラブの発表の場とする。</p> <p>今年度は、実行委員会を設け、自主公演事業を行う。</p> <p>公演では外題に加え、オープニングに「播州歌舞伎の歴史」の話をする。地域住民に意外と知られていない播州歌舞伎の魅力を伝える。</p> <p>そして公演を通じて、より多くの町民が播州歌舞伎の魅力に気づき、播州歌舞伎をまちの誇りとして思いを共有するとともに、人と人とのつながりを再構築する機会とする。</p>
<p><b>内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆出演団体：多可町播州歌舞伎クラブ</li> <li>◆タイムスケジュール           <ul style="list-style-type: none"> <li>午後1時00分 開場</li> <li>午後1時30分 開演               <ul style="list-style-type: none"> <li>開会行事</li> <li>オープニング「播州歌舞伎の歴史」</li> <li>見どころ紹介・解説</li> </ul> </li> <li>午後2時05分 公演 多可町播州歌舞伎クラブ               <ul style="list-style-type: none"> <li>「仮名手本忠臣蔵七段目 ～祇園一力茶屋の場～」</li> </ul> </li> <li>午後3時15分 終了・お見送り</li> </ul> </li> <li>◆その他           <ul style="list-style-type: none"> <li>チケット 11月5日(土)から販売中               <ul style="list-style-type: none"> <li>一般・高校生 1,000円 小中学生 500円 ※未就学児は無料</li> <li>定員 500名 ※来場者にはグッズをプレゼント</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
<p><b>参考資料など</b></p> <p>チラシ</p>

# 多可町政 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和4年11月24日	生涯学習課	吉井 美和	0795-32-5122

## 事業(行事)名

令和4年度ふるさと創造大学公開講座の開催

## 日時(開催期間)

12月17日(土) 午前10時00分～11時30分

## 場所

交流会館 大会議室 (多可町加美区寺内251)

## 趣旨または目的

ふるさと創造大学は、“暮らしの創造と交流”というテーマをもとに、あらゆることについての情報交換・交流・学習研究などの「場づくり」を進めることを目的としている。

住民自らが企画し、運営していくというスタイルのもと、文化・歴史・健康・福祉・見学・交流など様々な方面から生活課題を学び、ふるさと多可町のまちづくりに取り組んでいる。

今回は50年間、家具・工芸品の制作に携わり、木の文化を大切にしてこられた多可町在住の笹倉さんを講師に招き、公開講座を開講する。

## 内容

演題：木は生きている

～家具・工芸品の制作を通じて 民藝道を歩んで50年～

講師：木工・漆加工(前兵庫県民芸協会会長) 笹倉徹 氏

※参加費無料 (当日参加可能)

## 参考資料など

チラシ



# 多可町政 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和4年11月24日	図書館	岡田 篤史	0795-32-5170

## 事業(行事)名

みんなで楽しむ クリスマスおはなし会 & クリスマスミニコンサート

## 日時(開催期間)

12月24日(土)

クリスマスおはなし会：午後2時15分～

クリスマスMASA BAND ミニコンサート：午後3時～

## 開催場所

多可町図書館

## 趣旨または目的

さまざまなイベントを開催することで図書館を身近に感じていただくため開催する

## 内容

図書館は様々な本を取りそろえており、そのためさまざまなイベントとのコラボが可能。

平成28年度よりピアノミニコンサートを5年間開催。昨年は、チェロを演奏した。今年、アコースティックギターなどの弦楽器を演奏する(5～6曲)。(申し込み不要)  
また、毎月第2、4土曜日におはなし会を実施しており、12月の第4土曜日は特別にクリスマスおはなし会を開催する。

おはなし会・参加者にはプレゼントを用意している。(先着15名、申し込み必要)  
いずれも参加費は無料。

## 参考資料など

チラシ

# 多可町政 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和4年11月24日	図書館	吉田 麻美	0795-32-5170

## 事業(行事)名

かるた会

## 日時(開催期間)

令和5年1月14日(土) (百人一首) 午前10時00分～11時30分(予定)  
(いろはカルタ) 午前11時00分～正午(予定)

## 場所

多可町図書館

## 趣旨または目的

古来より日本で親しまれてきた百人一首やいろはカルタを通じてお正月の気分を味わうとともに、同世代の子どもたちの交流を目的に、毎年開催している。

## 内容

(百人一首)

小学4～6年生が対象。事前申込制。源平戦(奇数の場合は、1組だけ3人となる可能性があります)で勝敗を競う。

(いろはカルタ)

幼児～小学3年生が対象。事前申込制。同年代の子どもたちを集めたグループをいくつか作り、2～3回勝負を行う。カルタは数種類用意している。

※どちらも参加賞あり。また上位者にはさらにプレゼントがもらえる。

## 参考資料など

チラシ

# 多可町政 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和4年11月24日	多可町文化会館	蔵本 栄伸	0795-32-1300

## 事業(行事)名

第16回多可町芸能祭の開催

## 日程

12月4日(日) 開演 午後1時00分～ (開場 午後0時30分)  
終演 午後4時30分頃 入場無料

## 開催場所

多可町文化会館 ベルディーホール

## 趣旨または目的

16回目を迎える多可町芸能祭を開催する。

## 内容

社交ダンス、手話劇、舞踊、詩吟、フラダンスの6グループが発表を行う。  
以下、出演順

1. ソシアルダンス舞<sup>まい</sup> (社交ダンス)
2. たか手話サークル (手話劇)
3. 花柳流<sup>ぎょくせんかい</sup> 玉扇会 (舞踊)
4. 直派若柳流<sup>ようびかい</sup> 瑩美会 (舞踊)
5. 中区詩吟同好会 (詩吟)
6. カパーフラオカ イリマレイ アーピキ (フラダンス)

(主催) 多可町 (主管) 多可町文化連盟 (音響・照明・舞台協力) VOC

## 参考資料など

チラシ

# 多可町政 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和4年11月24日	多可町商工会青年部 地域包括支援センター	藤岡 高志 下原 つばさ	0795-32-2161 0795-30-2525

## 事業(行事)名

多可町商工会青年部 認知症サポーター養成講座

## 日時(開催期間)

12月2日(金) 午後7時00分～8時30分

## 場所

多可町役場 2階大会議室

※新型コロナウイルス感染症流行状況によってはオンラインで実施

## 趣旨または目的

多可町商工会青年部は多可町内に事業所を置く45歳以下の若手経営者、後継者からなり、84名の部員がいる多可町商工会の内部組織である。青年部では経営資質向上や地域振興等を目的に事業を行っている。今年度の部長は(株)安田製材所の高田潤二郎。本事業の担当委員会の委員長は社会福祉法人千ヶ峰会の藤岡高志。

本町では、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成し、誰もが安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいる。

今回は、商店などで住民の方に接する機会が多い商工会青年部が受講し、日頃の見守りや声かけをするとともに、気になることがあれば町と連携できる体制づくりを進める。また、働き世代に発症する若年性認知症について、普及啓発を図る。

## 内容

- ・ 認知症サポーター養成講座 (キャラバンメイトによる講話)
  - ・ 認知症とは
  - ・ 認知症サポーターとは
  - ・ 対応のポイント
  - ・ 若年性認知症について
- ・ 地域包括支援センターより町の取組について説明
  - ・ あんしんはーとねっと事業の説明及び事業所登録
  - ・ 多可町の相談窓口について
  - ・ ひょうご認知症サポート店(事業所)への登録

## 参考資料など

チラシ

# 多可町政 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和4年11月24日	多可町商工会	本庄 尚哉	0795-32-2161

## 事業（行事）名

「多可町っ子いきいき献立」による多可町特産品と日本文化の魅力発信（有戎屋菓子店）

## 日時（開催期間）

11月30日（水）

## 場所

町内小中学校

## 趣旨または目的

多可町では、給食を「生きた教材」として町や兵庫県の地元食材を取り入れた献立や郷土料理など、特色ある学校給食の実施に取り組んでいる。

「多可町っ子いきいき献立」では、より多くの地元食材を献立に使用することにより、さらに地産地消を進めるとともに、ふるさと多可町を愛する気持ちを醸成することを目的として実施。

毎年11月1日には、多可町誕生の日として「ふるさと給食」を提供している。今年度は「ふるさと給食」と「多可町っ子いきいき献立（年2回実施）」を合体させ、多可町産の食材をたくさん使ったスペシャルな献立を計画。

今回、「多可町っ子いきいき献立」の趣旨に賛同して、お店を代表する銘菓「酒饅山田錦」をメニューの一つとして提供する。

多可町には特産品がたくさんあり、中でも酒米「山田錦」は多可町が発祥の地であり、多可町を代表する特産品である。その酒米「山田錦」を使った和菓子を提供することで、子どもの頃に味わった思い出を大人になったときも多可町を思い出し、誇りに思うような地であるようにとの願いも込めている。

また、和菓子という日本文化の魅力も併せて発信し、地域の素晴らしさや日本文化について継承していきたい。

## 内容

多可町から「多可町っ子いきいき献立」のデザートメニュー提供についての相談があったことがきっかけである。多可町の特産品を使ったデザートの提供は、多可町の未来を担う子どもたちに向けて、食育や特産品について知ってもらうきっかけにもなり、そして何よりも多可町でがんばっている事業者や仕事を知ってもらう機会になることから、事業者への呼びかけ協力を受けることにした。

呼びかけについては、多可町の取り組み自体を知ってもらうために、全会員事業者に毎月配信している「みみよりインフォメーション」に記事として掲載し、協力事業者を呼びかけた。そして有戎屋菓子店さんから申し出があり、今回のメニュー提供となった。

提供する酒饅山田錦は、酒米「山田錦」を使ったまんじゅうで、ほのかにお酒の香りが漂う、皮とあんバランスが絶妙なまんじゅうである。過去には全国菓子大博覧会での受賞歴もある。

昨今のデザート市場は、洋菓子が主流になってきており、和菓子の定番でもある「あんこ」に触れる機会が少なくなっている。和菓子という日本文化の魅力発信や継承のためにも、子どもたちに食べてもらうきっかけを創出したい。

## 参考資料など

【多可町っ子いきいき献立】播州地鶏の卵とじ+百日どりのチキンカツ（カツ丼）、小松菜のごま和え、酒饅山田錦、牛乳、白ごはん